

・武庫川シンポジウム 企画案

1. テーマ 「武庫川づくりを考える 流域連携へ向けて」(仮)
2. 開催の趣旨
「8月提言」の趣旨と中身をアピールするとともに、その意義づけを明確にする。合わせて、提言のソフト面での課題である『流域連携』の基礎づくりと連携組織の立ち上げを促す。
3. プログラム
オープニング 組曲「武庫川」(小学生の合唱)
基調講演 河合雅雄氏(丹波の森公苑名誉理事長、人と自然の博物館名誉館長)
「川に親しむ」または「川を育てる、川に育てられる」(仮題)
基調報告 「総合治水へ向けて」(武庫川流域委員会の8月提言の紹介)
委員長の報告に加えて、伊藤委員が制作する「これが武庫川だ」(パワーポイント映像構成)
パネル討議 「流域連携による川づくりをどう進めるか」(要検討)
パネリスト(候補=全国各地の実践例から学ぶ)
吉村伸一(流域計画室代表)=全国各地の川づくりの経験豊富。2001/10 第1回武庫川シンポジウム
姫野雅義(吉野川みんなの会代表)
横山 正(千種川圏域清流づくり委員会)
コーディネーター
松本 誠(武庫川流域委員会委員長)
4. 会場 できれば西宮市民会館または兵庫県公館?
(西宮の場合には、地元の西宮市長に歓迎?の挨拶をしてもらう。公館の場合は知事?)
5. 主催 武庫川流域委員会&兵庫県武庫川総合治水推進会議
(開会 or 閉会のあいさつ 推進会議座長 or 知事)
6. 費用は推進会議または河川協会? 25万円??
7. 開催時期 3月下旬案、5月中旬案
8. 企画運営グループの編成(運営委員中心に数名)

・流域連携への仕組みの立ち上げへのプロセス

武庫川流域圏会議

武庫川学会

- ・人と自然の博物館を拠点にする。館長等への相談
- ・研究者、住民、NPO、行政職員等バラエティ豊かな構成をめざす。事務局ほか

・「武庫川カルテ」編集委員会の立ち上げと活動の開始

- ・出版作業を進める
- ・中身の整理
- ・費用の見通し
(県民局の「地域団体活動パワーアップ事業助成=100万円」を中心に検討、営業出版の併用)

・ニュースレターの発行と活動の周知(冒頭にニュースとして掲載し、委員会の動きを周知)

・長峯委員の委員継続について

・日弁連環境委員会の調査(21日=現地視察 12-18h、22日=ヒアリング 9-12h 西宮北口ウイング)